

お茶の水女子大学 歴史資料館企画展示

写真で
見る

学生寮

会期 2023年5月15日(月)~26日(金) (土日は休館)

*2024年1月まで(予定)は、お申し込みいただければ、開館いたします。

開催時間 11:30~15:30 (入場無料)

場所 お茶の水女子大学歴史資料館
(大学本館1階121室、136室)



WebサイトURL: https://www.lib.ocha.ac.jp/archives/tenji_2023/

オンライン展示:



問合せ先



国立大学法人

お茶の水女子大学

図書・情報課 大学資料担当

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 E-mail:shiryo@cc.ocha.ac.jp

主催 お茶の水女子大学歴史資料館

アクセス 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
都営バス「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分



関東大震災の翌年に完成した仮寄宿舍



明治32年にお茶の水構内に落成した第一寄宿舍



大塚校地の第一寄宿舍(昭和4年から20年まで使用)



大塚校地の第二寄宿舍(昭和11年から20年まで使用)



昭和31年に完成した学内寮

お茶の水女子大学 歴史資料館企画展示

写真で見る 学生寮

令和4(2022)年4月、地上7階建、居室450室の新しい学生寮「音羽館」(学生宿舎と課外活動施設と合築)がお茶の水女子大学構内に開寮しました。

本学は、明治8(1875)年に東京女子師範学校として開校したのち、何度かの名称変更やお茶の水から大塚への校地の移転がありましたが、戦前においては、常に学内に寄宿舍が存在していました。戦後、お茶の水女子大学となっても、昭和31(1956)年から昭和56年までは学内寮が存在し、150年近い本学の歴史を振り返ると学内に寄宿舍(寮)があった時期の方が長いことがわかります。

「音羽館」完成以前の本学の学生寮は、小石川寮、国際学生宿舎(通称「大山寮」)、お茶大SCC(Students Community Commons)の3つの学外寮からなり、学内に寮が存在するのは、学内寮が閉寮した昭和56年以来、41年ぶりになります。

本展示では、「音羽館」完成を記念して、学校設立から現在までの学生寮を本学に残る写真資料を中心に紹介していきます。